



彼女は催眠術に
かかりやすい!

※この作品はフィクションです、登場する人物、地名、団体はすべて架空のものであり現実の物とは関係ありません。
※この作品は18歳未満のご購入、閲覧、貸出を禁止しています。
※この作品に登場するキャラクターは全員18歳以上です。
※本作の無断転載、配布、販売、素材等の使用を禁止します。



彼女と付き合いだして一ヶ月
自分から駄目もとで告白して
断られるかと思ったけど……
今はこうしてデートに行ける
関係になった。

どうやらずっと昔に会ったことが
あるらしいその頃からコハルも
好きで居てくれたという訳だ。

えっと……

私の顔に何か
付いてる？

いっいや……
つい見惚れて……

ごめん……

カ
ア
ア
ア

別に良いよ

そっそっか
照れるなあ……

順調に見えるが一つ不安があった
あれは付き合いだして間もない時
俺と彼女……そして俺の友達と
遊んで居た時の話だ

三人で催眠術に掛かるか遊んで居た

いやあ無理無理
全然かかんねえ

じゃあ次
私の番だね！

よしじゃあ
これ見て！

あなたは段々
眠くなってる
眠くなってる

まぶたが重たく
なって……？

スッ

いやいや流石に
ふざけてるだけだろ
ね？コハルちゃん？

コハルちゃん？

アレ？コハルちゃん
……これ効いてね？



彼女が催眠術に掛りやすい事が
分かった

それ自体は大した事ではない、問題は
あの日以降……



ケンジがやたら付き纏う
様になったのだ

彼女の前で邪険には
できないが……

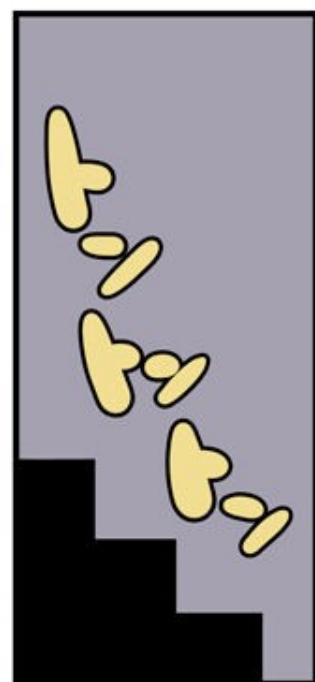


どうせ碌な事を企てるに違いない

最近良く
会うね

俺が彼女を守らないと……





効果でたか？

催眠術アプリを
使ってみたが
コハルちゃんなら

.....

ボ
ー

おっこの感じ……
効いてるぽいぞ……

コハルちゃん
触るよ……

むに

んっ

もみ

もみ

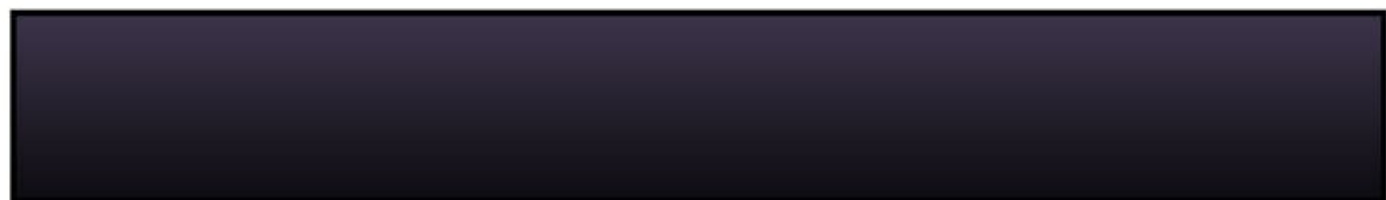
おっおおマジか！
俺がコハルちゃんのおっぱいを……

コハルちゃん

ビュッ

ガッ











これ見てくれる？
よく見て……

君は……



コハルちゃん！

アレ？ケンジ君
どうしたの？



居たちようど
一人か……

さてなんて
暗示を掛けるか
やっぱ……



でもお

まだこういう事は
早い気がするの

はあはあはあ

あつ

良いじゃん！ね？
服脱いでさ……
ほら……

わかった……
わかったから

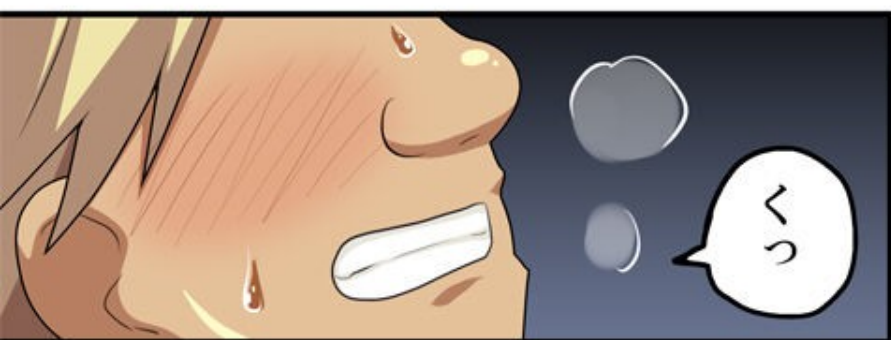
あつ

だめっ

いいじゃないか
俺達付き合っ
てるんだし











はあはあ

コハルも嬉しいだろ
俺と一つになれて？



うんっ

私もあつ
うれしっんっ



ああ

あつ

はあはあ

コハルの穴最高っ
初めての男に
なれて嬉しいよ！

へへへそうか
ならその気持ちに
答えないとなっ！

ズ
キ

ズ
キ

ああ

はげっしっ
奥に来てるっ

ビュッ

ビュッ

チ
ン

ああ

んっ

おっきいっ

ズ
キ

あっあっ

ケンジ君の

コハルの新品ま●こは
キツキツだもんなあ
はあはあ気持ち良い

チ
ン

ズ
キ

あんっ

ズ
チュ

ア
チュ

あっあっ

プルッ

へへへそうか
良いかはあはあ

ズ
ア
プ

気持ち良っ

すごいよっ
ああっ

ああ

ハ
ハ

すごくエッチだ
コハルっ！

ハ
ハ

あああ
はっんんっ

ふんっ

あいつにも見えてやりてえ
はあはあコハルのこの
エロい姿をなあ！

ああつ

あいつつて
だれえつ？

ひんっ

あんっ

んっんっ

気にすんなつ
俺のち●ぽの事だけ
考えてろっ！

はあはあ





